

令和4年度 第8回春日区地域協議会 次 第

日時：令和4年11月15日(火) 午後6時30分から
会場：上越市市民プラザ 第2会議室
全体会 1時間15分

1 開 会

【2分】

2 あいさつ

【3分】

3 議 題

(1) 自主的審議事項

- | | |
|-------------------------------|------------|
| ・ 春日山城跡の観光振興策について | (観光分科会) |
| ・ 安全・安心に暮らせる春日区とする方策について | (安全・安心分科会) |
| ・ あらゆる世代が心豊かに暮らせる春日区とする方策について | (福祉分科会) |

1) 情報交換会の内容について 【20分】

2) 分科会からの報告内容について 【30分】

(2) その他

4 その他

(1) 次回開催日の確認

【5分】

- 日時 令和4年 月 日(火) 午後6時30分 から
 ※ 候補日：12月12日(月) or 14日(水)
- 会場 上越市市民プラザを予定
- 内容 自主的審議事項
 ※ 閉会后、分科会を開催

(2) その他

5 閉 会

春日地区町内会長との春日区地域協議会委員の情報交換会
次 第

日時：令和 4 年 11 月 24 日(木)

午後 6 時 30 分から

会場：上越文化会館 4 階 大会議室

延べ 1 時間 15 分

1 開 会

(1) あいさつ

- ・ 春日区地域協議会長 太田 一巳
- ・ 春日地区町内会長連絡協議会 会長 佐藤 幸治 様

(2) 出席者紹介 (事務局)

2 議 題

(1) 説明

- ① 本日の情報交換会について

(2) 情報交換

- ① 分科会の取組について

- ② フリートーク

3 閉 会

(1) あいさつ

- ・ 春日区地域協議会副会長 田中 裕子

(1) 説明

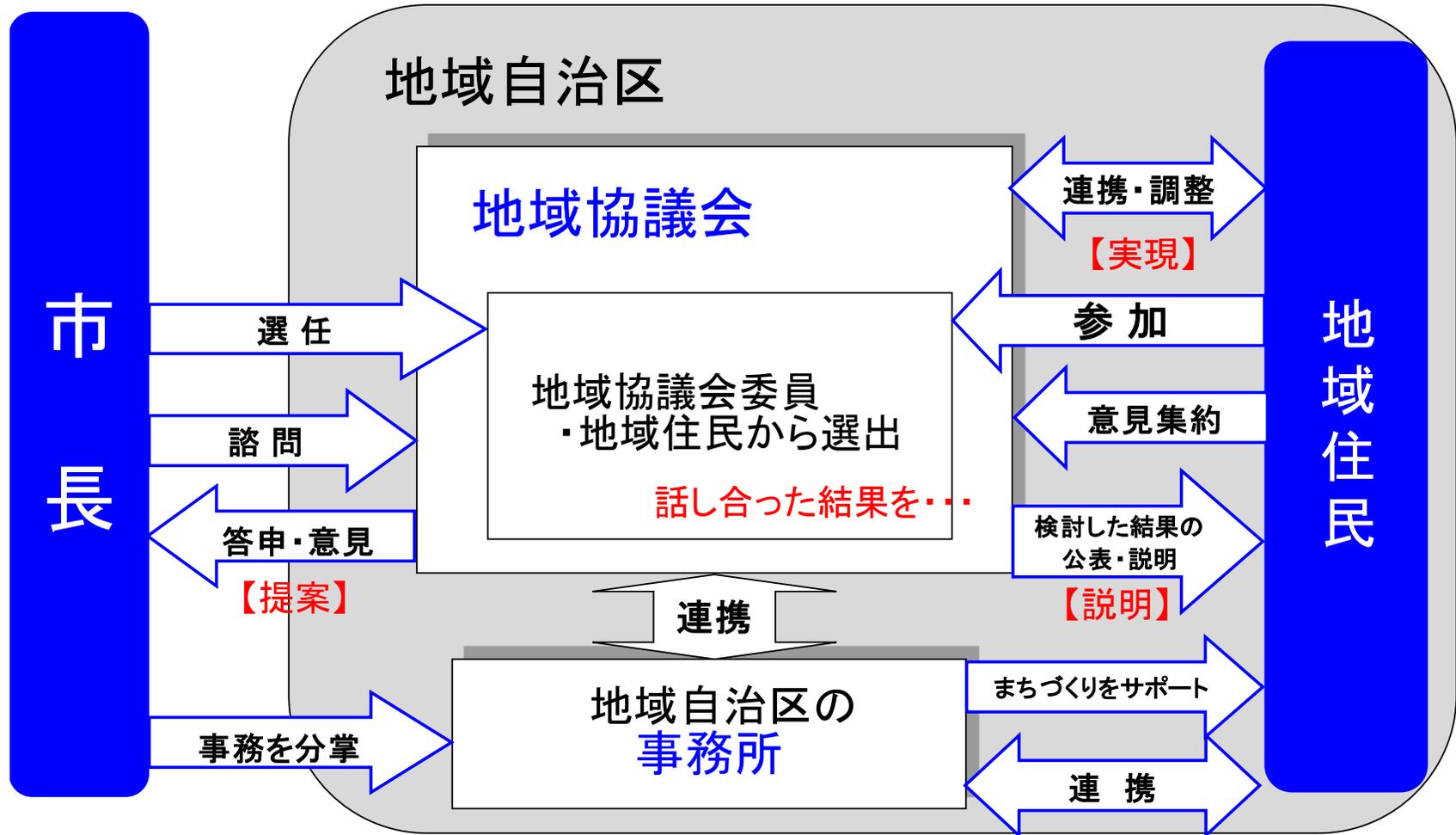
① 本日の情報交換会について

地域協議会について①

1 地域協議会の目的

地域協議会は、市内28の地域自治区で“自主自立のまちづくり”を推進するために設置された、市長の附属機関です。

地域協議会は、住民の観点で地域の課題解決や活性化などについて話し合い、その結果を地域の皆さんに「説明」したり、地域の団体等の協力を得て取組の「実現」につなげたりするほか、話し合いの結果が市政に反映されるよう市長に「提案」を行います。



2 地域協議会委員

地域協議会委員は、公募・公選により選出され、市長が選任します。委員となる人は、区内に住所がある25歳以上の方で、春日区地域協議会の委員定数は20人です。

地域協議会について②

3 地域協議会の役割

(1) 自主的審議
 住民の観点でテーマを定め、課題の解決や活性化について話し合います。
 話し合った結果は、その内容に応じて区内の団体に協力・連携を求めたり、市長に意見書を提出して市政での実現を求めていくことができます。

(2) 諮問・答申
 政策判断の参考とするため、特定の案件を対象に「区内の住民の生活に及ぼす影響」について、地域協議会に意見を求めるものです。
 地域協議会は諮問された内容について話し合い、その結果を市長に答申します。

〈過去の諮問事例〉

- ・新市建設計画の変更について（令和4年9月）
- ・つちはし保育園及び春日保育園の廃止について（令和3年1月）
- ・北本町保育園の移転について（平成28年12月） など計16件

(3) 地域活動支援事業の審査

※令和4年度をもって事業終了

地域協議会での検討

■ 審議テーマ

「春日山城跡の観光振興策について」

【観光分科会】

- ・国指定の史跡である春日山城跡は、日本百名城にも数えられ、県内外から観光客が訪れる当市有数の観光スポットであるが、観光地として十分に活用されているのか疑問がある。
- ・また、史跡の保存や整備については、地域の団体の力に頼るところが大きく、市の姿勢が消極的ではないかと感じられる。
- ・春日山城跡の「観光地としての魅力向上」や「市民を巻き込んだ環境整美」などにより、春日山城跡の観光振興策について検討する。

「安全・安心に暮らせる春日区とする方策について」

【安全・安心分科会】

- ・春日区には、防災士による活動組織（防災士会）がなく、また、人口に比べて防災士の数も少ないことから、災害への備えが十分にできているか不安がある。
- ・また、降雪期になれば、一部の歩道が雪に埋まり、小学生など歩行者が車道を通行するため、事故防止の対応が求められる。
- ・「地域の防災体制の充実」や「積雪時の歩道の確保」などにより、安全・安心に暮らせる春日区とするための方策について検討する。

「あらゆる世代が心豊かに暮らせる春日区とする方策について」

【福祉分科会】

- ・春日区では、少子高齢化と、地区外からの転居などによる人口増加が同時に進む中、住民同士の関わり合いが希薄になってきている。
- ・特に小・中学生や若者の地域の行事等への参加が少なくなっており、このことが地域に対する愛着形成の機会を減らし、将来のまちの力が低下していくことが懸念される。
- ・「住民同士の交流の促進を図る」ことなどにより、あらゆる世代が心豊かに暮らせる春日区とするための方策について検討する。

3 地域協議会の役割(つづき)

■ 審議テーマ

「春日山城跡の観光振興策について」

【観光分科会】

・春日山城跡の「観光地としての魅力向上」や「市民を巻き込んだ環境整美」などにより、春日山城跡の観光振興策について検討する。

「安全・安心に暮らせる春日区とする方策について」

【安全・安心分科会】

・「地域の防災体制の充実」や「積雪時の歩道の確保」などにより、安全・安心に暮らせる春日区とするための方策について検討する。

「あらゆる世代が心豊かに暮らせる春日区とする方策について」

【福祉分科会】

・「住民同士の交流の促進を図る」ことなどにより、あらゆる世代が心豊かに暮らせる春日区とするための方策について検討する。

地域協議会での検討

関係者との話し合い

地域協議会としての考えをまとめる。

本日の情報交換会
など

【具体化する方法】

① 地域内での解決に向けた提案

… 地域で取り組む必要があることについて、地域の団体に提案し、地域での実現を目指します。

② 意見書の提出

… 市で取り組むべきことについて、市長に提案し、市政の中での実現を目指します。

③ 「(仮称)地域独自の予算」に向けた調整・提案

… 地域と市が協力して取り組む必要があることについて、地域・市と調整し、両者による実現を目指します(市の予算化を含む)。

【地域】

【市】

【地域と市】

令和 4 年 11 月 24 日

春日地区町内会長 様

自主的審議の取組について：観光

春日区地域協議会長

(観 光 分 科 会)

1 審議テーマ 春日山城跡の観光振興策について

2 背景

- ・ 国指定の史跡である春日山城跡は、日本百名城にも数えられ、県内外から観光客が訪れる当市有数の観光スポットであるが、観光地として十分に活用されているのか疑問がある。
- ・ 史跡の保存や整備については、地域の団体の力に頼るところが大きく、市の姿勢が消極的ではないかと感じられる。

3 これまでの審議経過

- ・ 市（文化行政課・観光交流推進課）からの情報収集
- ・ 春日山城跡等現地視察

4 今後の審議内容・見通し

- ・ 活動団体との意見交換
- ・ 先進地視察
- ・ 春日山城跡の観光振興に関する提言書
- ・ （意見書）の作成・提出

5 協議依頼事項

- ・ 春日地区、高志地区における春日山振興の機運を高めるため、必要な取組についてご意見をいただきたい。

6 添付資料

- ・ 上記項目の詳細を説明した資料は別紙のとおり

(案)

春日山城跡を中心とした観光振興に資する事業の具体的な資料

1. 市民が憩える春日山フラワーパーク整備事例

- ・大手池公園のアジサイ植栽：地域活動支援事業で実施



- ・ものがたり館の監物堀に咲くカキツバタ。これを過去の監物堀全体に植えて、遊歩道を整備する。



6. 大型バス駐車場の整備

- ・春日山旅館の東側にあり、団地埋め立てのため山が削られ荒地になっている。ここを大型バスの待機所に整備する。



令和 4 年 11 月 24 日

春日地区町内会長 様

自主的審議の取組について：安全・安心

春日区地域協議会長
(安全・安心分科会)

1 審議テーマ 安全・安心に暮らせる春日区とする方策について

2 背景

- ・ 春日区には、防災士による活動組織（防災士会）がなく、また、人口に比べて防災士の数も少ないことから、災害への備えが十分にできているか不安がある。
- ・ 降雪期になれば、一部の歩道が雪に埋まり、小学生など歩行者が車道を通行するため、事故防止の対応が求められる。

3 これまでの審議経過

- ・ 上越市防災士会長からの情報収集
- ・ アンケート調査（防災士資格者、災害対応資器材）

4 今後の審議内容・見通し

- ・ 防災士資格保有者との意見交換
- ・ 「上越市防災士会春日支部」の設置
- ・ 市担当課からの情報収集
- ・ 防災士会と連携した訓練メニューの企画・例示

5 協議依頼事項

- ・ 防災士会春日支部が設置された際には、防災士の知見をいかした防災訓練等を実施していただき、地域の防災力向上に取り組んでいただきたい。

6 添付資料

- ・ 上記項目の詳細を説明した資料は別紙のとおり

令和4年 月 日

[提言]

防災体制の充実・強化について（防災士会春日支部結成）

春日区地域協議会
(安全・安心分科会)

（自然災害への備え）

近年自然災害の規模が大型化してきています。地球温暖化が原因と言われていますが「いざ、災害が発生した」時に町内会としてどのように取り組みをされているでしょうか。

各町内会には町内会長を本部長とした自主防災組織があると思います。町内会長は2～4年で交代しているのが春日地区の現状です。災害発生時、町内会長の補佐として最も頼りになるのが、防災の専門的な知識・訓練を受けた「町内の防災士の資格を持った人」と考えます。防災士は年数に限らず継続して地域防災の担当として活動できます。

（防災士の活動について）

防災士は大災害が発生しました「阪神・淡路大震災」の教訓を伝承、民間の力の結集による地域防災力の強化を目指し、「自助」「共助」「公助」の理念の啓発とその実践を目的とし、平成14年にNPO法人日本防災士機構として創設されました。

防災士は地域の防災力を高めるため、日頃から地域の人たちと協力をして防災、減災のための啓発活動に努め、災害時には地域の人々と手を取り合って救助、応急活動に当たります。

（支部結成の提言）

上越市では2007年に上越市の防災士会を発足し年に数回各地で防災活動の企画、指導等を実施しております。上越市には28区（地方自治法に基づく地域自治区）があり、各自治区において地区防災組織（支部）が結成されています。春日区はいまだ未結成のままです。防災士の資格をお持ちの方でも「上越市防災士会」に入会されていない方もいます。幸い春日地区では現在大きな災害が発生しておりません。災害発生時、地域住民（自助）・地域（共助）・行政（公助）が言われておりますが、比率は自助7・共助2・公助1の割合だそうです。

災害の規模が大きいほど、救助活動をする行政機関（自治体・消防・警察・自衛隊等）も被災する可能性は高まります。地域住民が「自分の命を自分で守る」「自分達の地域は自分達で守る」また隣近所で助け合い「いざ災害」になった時、横の連絡体制が不十分な状況を解消し、お互いの町内が助け合う「共助」の精神のためにも、春日地区に防災士支部を結成したいと考えています。

（安全・安心な春日地区を目指して）

過日、春日地区町内会長様に「防災に関する調査」を実施し、協力をしていただきました。その結果をもとに春日地区の「防災マップ」も作成する予定にしております。

最後に「安全・安心で住みよい春日地区」にするため、「防災士会春日支部」結成にご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。

令和 4 年 11 月 24 日

春日地区町内会長 様

自主的審議の取組について：福祉

春日区地域協議会長

(福 祉 分 科 会)

1 審議テーマ あらゆる世代が心豊かに暮らせる春日区とする方策について

2 背景

- ・ 春日区では、少子高齢化と、地区外からの転居などによる人口増加が同時に進む中、住民同士の関わり合いが希薄になってきている。
- ・ 特に小・中学生や若者の地域の行事等への参加が少なくなっており、このことが地域に対する愛着形成の機会を減らし、将来のまちの力が低下していくことが懸念される。

3 これまでの審議経過

- ・ 町内会活動に関する実態調査
- ・ 活動団体からの情報収集
- ・ 具体的な取組内容の検討（いきいきコンサート、ニュースポーツ等健康増進活動）

4 今後の審議内容・見通し

- ・ 活動団体との意見交換
- ・ 活動団体への提案

5 協議依頼事項

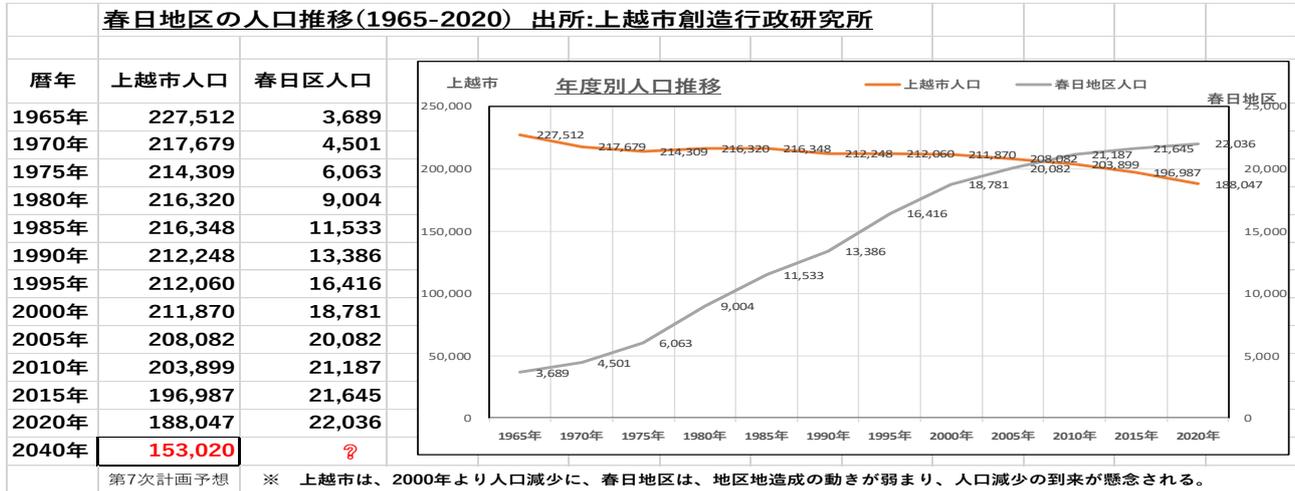
- ・ 地域の高齢者が小中学生や大学生とともにつくる「いきいきコンサート」を春日区全体の事業としていただきたい。
- ・ 健康づくり活動のサポート体制があるため、積極的に活用していただきたい。

6 添付資料

- ・ 上記項目の詳細を説明した資料は別紙のとおり

今後益々少子高齢化が進み、住民の関心は、人生 100 年時代と言われている様に「健康づくり」、人とのふれあいの「コミュニティ」による親睦、交流が求められている時代と感じています。

春日地区(19 町内)は、人口約 22,000 人、世帯数約 7,500 世帯と上越市地域自治区 28 区で、春日区の人口は、約 12%を占める大きな地区である中で、特に少子高齢化で人口減少が進む中、振興住宅が造られた事で図に示すような人口推移をたどっています。



春日地区 19 町内の年齢構成については、下記のように町内ごとに差異があります。住宅地が造成された町内とそれ以外で差があることが分かります。

春日地区の学区別の町内別人口構成(R3年3月31日住民台帳より)

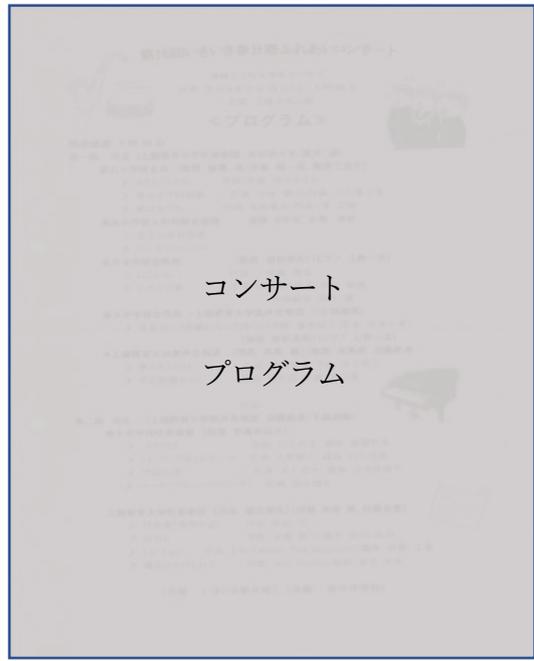
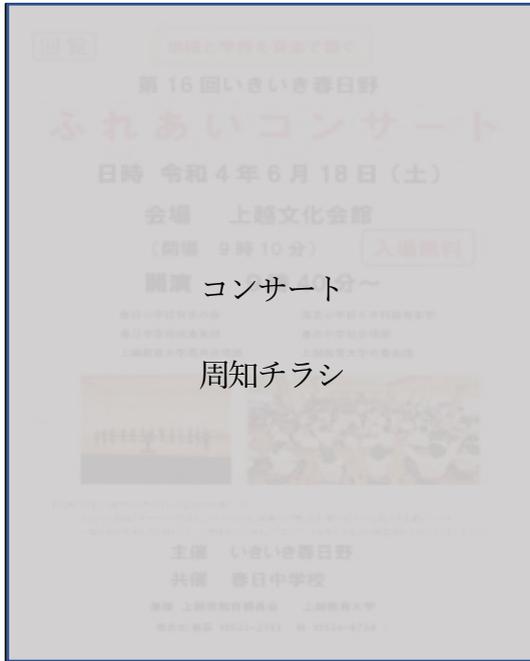
町名	木田	新光町	大学南	土橋	藤新田	藤巻	新土橋	大学前	木田新田	高志学区	春日区合計
人口	3,466	1,391	787	743	672	514	459	478	335	8,845	20,945
世帯数	1,503	600	376	249	271	241	8	177	104	3,529	7,507
年少人口	553	173	143	201	107	61	90	52	59	1,439	3,383
生産年齢	2,194	842	485	416	392	308	272	307	222	5,438	12,761
老年人口	719	376	159	126	173	145	97	117	54	1,966	4,799

町名	春日野	春日山1丁	大豆	春日山2丁	春日山3丁	中門前	岩木1丁目	岩木2丁目	春日	谷愛宕	春日小学校区
人口	2,411	2,187	1,854	1,422	1,323	1,323	894	564	98	24	12,100
世帯数	993	838	720	188	104	545	361	188	30	11	3,978
年少人口	331	427	295	249	187	164	123	140	27	1	1,944
生産年齢	1,497	1,361	1,118	870	762	713	582	358	48	14	7,323
老年人口	583	399	441	303	374	446	189	66	23	9	2,833

上越市の第7次総合計画（計画期間：平成17年度(2005年)から令和11年度までの25か年）では、令和2年は188,047人であった人口が、10年後の令和12年には、172,017人と推計されています。（今後10年間で約16,000人減、8.5%減、春日地区も65歳以上が30%を超える。）

春日地区町内会長連絡協議会が行っている各事業も、少子高齢化が進み、お祭りの神輿担ぎや神輿の引き回し、野外スポーツ・綱引き等の人員確保も難しい時代になる中で、住民間の世代を超えた人的交流の必要性を感じています。

こうした中で、身近で活動されている「いきいき春日野」さんの第16回目の「ふれあいコンサート」が、本年6月18日に上越文化会館で開催され、コロナ禍にあっても、1,500名収容できる会場に740名の方が来場されました。



ふれあいコンサートは、「地域と学校を音楽でつなぐ」をテーマに毎年開催されてきています。共催として「春日中学校」後援として「上越市教育委員会」と「上越教育大学」からもご支援いただいています。

活動による効果については、春日小学校、高志小学校の特設音楽部、春日中学校合唱部、吹奏楽部、上越教育大学混声合唱団、吹奏楽団らが参加され、小学生から大学生まで、幅広い世代の子どもたちが演奏し、上級生が下級生の指導していただくことで演奏技術向上や人的交流に繋がっており、コンサートには、演奏されている家族は勿論、音楽に興味をお持ちの世代の人達も幅広く多くの方が視聴されていました。

特にこの地域は、将来の子どもたちを教育していただく生徒を育てる大学が有り、その大学とコラボしてコンサートを開催していただいていることが、学生の成長にもなり、指導を受ける小中学生の視野向上にも繋がっていると思います。

このことから、私たち福祉分科会が求める「あらゆる世代が心豊かに暮らせる春日区」にも繋がる活動であると考え、このコンサートを主催している「いきいき春日野」の役員さん、支援されている春日野町内会長と、今日に至る活動について意見交換を行いました。

		ふれあいコンサート実績(平成30年以降)				
主催:いきいき春日野、共催:春日中学		2018年(12回)	2019年(13回)	2020年(14回)	2021年(15回)	2022年(16回)
開催日		平成30年6月10日(日) 開演9時40分	令和元年6月9日(日) 開演9時40分	令和2年11月15日(日) 開演9時40分	令和3年6月13日(日) 開演9時40分	令和4年6月18日(土) 開演9時40分
会場		春日謙信交流館	春日謙信交流館	春日謙信交流館	上越文化会館	上越文化会館
来場者数		440名	445名	475名	720名	740名
出演団体	オープニング上越教育大学(ストリートダンス部)			8曲		
	春日小学校有志	2曲(校歌含)	コンサート	2曲(校歌含)	3曲(校歌含)	3曲(校歌含)
	高志小学校6年特設音楽部	3曲(校歌含)	3曲(校歌含)	3曲(校歌含)	2曲(校歌含)	2曲(校歌含)
	春日中学校合唱部	6曲	6曲	5曲	4曲	2曲
	春日中学合唱部/上越教育大学混声合唱団	1曲	開催実績	1曲	1曲	1曲
	上越教育大学管弦楽団	4曲				
	上越教育大学混声合唱団	3曲	4曲	3曲	2曲	2曲
	春日中学校吹奏楽部	2曲	2曲	4曲	4曲	4曲
	上越教育大学吹奏楽団	4曲	5曲	3曲	3曲	4曲
後援:上越市教育委員会・上越教育大学						

主催団体では、このような活動を発展継続させていくためには、役員の高齢化への対応や組織体制の強化のほか、この活動をより多くの人達に知っていただき、春日地区全体の文化的事業として開催することができないかと考えています。

私ども春日区地域協議会としても、このコンサート事業は、地区の文化的イベント(祭り)の1つとして継続的に開催することで、小中学生や大学生の成長だけでなく、春日地区の人的交流の輪を広げる相乗効果に結び付き、そして地域の活性化につながると考えています。

このことから、春日地区19町内を取りまとめている春日地区町内会長連絡協議会の1つの特別部会として組み入れていただき、コンサート開催については、出演する学校の学校長・PTA会長や、教育委員会に加え、19町内会長様へ出席していただくようにすることで、春日地区が一体になって行っていることを知っていただき、地区の1つの文化的イベント(祭り)として恒例化することで、さらに春日地区の人的交流の輪が広がると考えます。

是非ご検討願いたく提案させていただきます。

なお、コンサートの当日運営体制や運営費については下記のようになっております。

特に会場費については、減免していただき、運営費は、地域支援事業より支援いただいています。予算外に、運営スタッフの弁当等は、春日野町内会より支援していただいています。

「いきいき春日ふれ合いコンサート」開催の人員配置			「いきいき春日ふれ合いコンサート」活動予算		
【前日】	人員	備考	費目	金額	説明
舞台準備・フロア準備	30	大学生	出演者謝金	80,000 円	出演者謝金、上教大吹奏楽部30,000、上教大演習台組曲20,000 く大学生は合唱部、後片付けは打之
舞台準備・フロア準備	6	いきいき春日野 大学生の練習終了まで立合い			
楽器の搬入(18時～21時)	2	いきいき春日野	記録作成謝金	49,000 円	春日中(吹奏楽部10,000、合唱部10,000) 春日小参加費(5,000) 付属小参加費(5,000) 動画撮影・DVD作成44,000(税込)
【当日】(8時～13時)	人員	備考(大学生・いきいき春日野)			
◆感染予防対策	7	検温(4名)手消毒(3名)	チラシ・ポスター	20,000 円	チラシ1000部、ポスター10枚
検温(大学生含む)	6	大学生3名は、9時30分迄			
手消毒(大学生含む)	4	大学生2名は、9時30分迄	運営費	40,000 円	コンサート開催経費
受付(4テーブル)	9	大学生2名は、9時30分迄			
係係	6	大学生3名は、9時30分迄	お茶代	5,000 円	お茶代 @100×50人
駐車場係(2カ所)	2	指定人数(いきいき)			
フロア責任者	1	いきいき春日野	スタッフ 前日、当日作業(半日)	50,000 円	25名×2,000=50,000 (8時30分～12時30分)4時間
受付附近責任者	1	いきいき春日野			
舞台マネージャー	1	いきいき春日野	印刷費	30,000 円	横断幕、看板、ポップ、ラミネート約150枚チラシ印刷
司会進行	1	大学生			
楽器、部屋、楽器置き場管理	1	いきいき春日野	消耗品費等	40,000 円	消毒液、事務用紙、布テープ等5,000 写真プリント代等10,000、インク代25,000
水費 担当	1	いきいき春日野			
会場後片付け(舞台・フロア)	50名	大学生30名、いきいき20名 予約時間までに終了の為	合計	314,000 円	お文化会館の会場使用料は、減免され無料

(その他提案)

実態調査において分かったこととして、身近な町内会館で高齢者が楽しめて健康づくりに結びつく、「ニュースポーツ等の制度」について、知らない役員さんがおられることも分かりました。

これはすでに市で行っている取組で、ニュースポーツに必要な器具の貸し出しや講師の出前派遣が無料で利用できるというものです。

福祉分科会としては、市の制度を知っていただき、「健康づくり活動を通じた地域の活力向上」につなげていただくことも町内会の活力を高めることに有効であると考えますので、ご検討いただけるよう提案いたします。